

収集した項目一覧

各施設から「院内がん登録標準登録様式」のうち下記の収集項目の提供を受け、集計に用いた。

<2006年版標準登録様式 収集項目>

項目番号	項目名	分類方法	説明
	施設名		
20	重複番号		当該施設における多重がんの有無を把握するためのコード
50	性別	1:男、2:女、9:不明	
60	生年月日	日付	
90	診断時都道府県コード	01:北海道～47:沖縄、88:その他（外国）、99:不詳	診断時に居住していた住所の都道府県コード
110	当該腫瘍初診日	日付	当該腫瘍の診断や治療のために、はじめて患者が自施設を受診した日
130	診断日1 (他施設診断日)	日付	前医・他施設において当該腫瘍の初回治療前の診断のため行った検査のうち“がん”と診断する根拠となった検査を行った日
140	診断日2(自施設診断日)	日付	自施設において当該腫瘍の初回治療前の診断のため行った検査のうち“がん”と診断する根拠となった検査を行った日
150	来院経路	0:自主、紹介（1:他院より、2:がん検診、3:健康診断、4:人間ドック）、5:当該施設にて他疾患の経過観察中、6:剖検にて、8:その他、9:不明	当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。がん患者がどのような経路により自施設を受診したかを把握できる
152	発見経緯	1:がん検診、2:健康診断・人間ドック、3:他疾患経過観察中（入院時ルーチン検査を含む）、4:剖検発見、9:その他・不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目。当該腫瘍の一連の診療が開始されるきっかけとなる状況が発生した施設（状況）を把握することを目的とする
160	診断区分(診断結果)	1:初発（治療開始前）、2:治療開始後、3:疑診	初発（治療開始前）、治療開始後を区別するための項目
161	診断施設	1:自施設診断、2:他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、もっとも確からしい検査を行った施設を特定するための項目
170	治療方針	1:自施設で治療、3:自施設で経過観察、4:他院へ紹介、8:来院中断、9:不明	診断結果に基づいて、主治医と患者とが治療方針について話しあった後に、主治医から当該腫瘍に対する治療方針として指示された内容
180	症例区分	1:診断のみの症例、2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例、3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例、4:新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例、5:剖検による診断の症例、6:登録開始日以前の症例、8:その他	初回診断（登録施設での診断の有無）と初回治療（登録施設における初回治療の有無）の組み合わせにより患者を振り分けるための区分をコードする
200	診断名コード	ICD-O-3局在(T)コード4桁	がんの原発部位をコードする
210	診断名テキスト		
220	部位の側性	1:右側、2:左側、3:片側(左右の別不明)、4:両側、9:不明もしくは正中に位置する腫瘍、側性を有しない臓器は、空欄もしくは0	原発部位が左右一対臓器の場合にコードする
230	ステージ (治療前・UICC)	00:0期、10:I期、20:II期、30:III期、40:IV期、99:不明、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のT,N,M各区分に相当するステージを記録する。婦人科領域では、TNMの代わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫についてはTNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる
232	ステージ (治療前・取扱い規約)	00:0期、10:I期、20:II期、30:III期、40:IV期、99:不明、空欄:対象外の臓器（取扱い規約のない部位・臓器）	がん取扱い規約の取り決めに従い、診断時のステージを記録する
240	T N M分類(UICC) T分類	00:T0、01:Tis、10:T1、20:T2、30:T3、40:T4、99:TX・不明、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のT分類を記録する
250	T N M分類(UICC) N分類	00:N0、10:N1、20:N2、30:N3、99:NX・不明、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のN分類を記録する
260	T N M分類(UICC) M分類	00:M0、10:M1、99:MX・不明、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のM分類を記録する
270	ステージ (術後病理学的・UICC)	00:0期、10:I期、20:II期、30:III期、40:IV期、99:不明、80:術前治療後、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のpT,pN,pM各区分に相当するステージを記録する。婦人科領域では、TNMの代わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫については、TNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる
280	p T N M分類(UICC) p T分類	00:pT0、01:pTis、10:pT1、20:pT2、30:pT3、40:pT4、99:pTX・不明、80:術前治療後、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のpT分類を記録する
290	p T N M分類(UICC) p N分類	00:pN0、10:pN1、20:pN2、30:pN3、99:pNX・不明、80:術前治療後、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のpN分類を記録する
300	p T N M分類(UICC) p M分類	00:pM0、10:pM1、99:pMX・不明、80:術前治療後、空欄:対象外の臓器（UICC:TNM分類:第6版に記載のない部位・臓器）	UICCの取り決めに従い、診断時のpM分類を記録する
310	進展度(治療前)	0:上皮内、1:限局、2:所属リンパ節転移あり、3:隣接臓器への浸潤あり、4:遠隔転移あり、9:不明	地域がん登録で採用されてきた分類方法。時系列的な比較や施設間での比較に使いやすい
320	進展度(術後病理学的)	0:上皮内、1:限局、2:所属リンパ節転移あり、3:隣接臓器への浸潤あり、4:遠隔転移あり、9:不明、8:術後病理学的進行度の適応外	手術摘出検体をもとに行われた病理組織的診断により判断される
330	組織診断名コード	ICD-O-3形態 (M)コード（6桁）	
340	組織診断名テキスト		
350	診断根拠	1:組織陰陽性、2:細胞陰陽性、3:病理学的検査による診断、4:病理学的検査以外の検体検査による診断、5:がん病巣直視下の肉眼所見による診断、6:放射線画像診断、7:臨床診断のみ、9:不明もしくは、病理学的検査による診断の不明	当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、最も寄与した情報について区分する
351	病理組織標本由来	1:原発巣、2:転移巣、3:該当無し（診断根拠が病理学的検査でないとき：診断根拠4～9に対応）、9:不明	組織陰陽性(病理組織診によるがんの診断)において、病理組織診が行われた組織検体の由来をコードする
460	外科的治療の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、外科的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む
480	体腔鏡的治療の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む
500	内視鏡的治療の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む
520	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1:原発巣・治癒切除、2:原発巣・非治癒切除、3:原発巣・治癒/非治癒の別不詳、4:姑息/対症治療/転移巣切除、8:その他、9:不詳	当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度をコードする。初回治療として行った総合的な結果を記載する
550	放射線治療の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、放射線治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む
560	化学療法の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、化学療法の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む
570	免疫療法・BRMの有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、免疫療法・BRMの有無を記載する
580	内分泌療法の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における、内分泌療法の有無を記載する
629	その他の治療の有無	1:有、2:無、9:不明	自施設での初回治療における上記以外の治療の有無を記載する
640	生存最終確認日	日付	
650	死亡日	日付	
660	予後調査結果	0:生存、1:死亡	予後調査実施時点での生存・死亡の区分を行う
720	予後調査方法	1:来院情報、2:死亡退院情報、3:役場照会、4:地域がん登録情報、8:その他	予後情報の調査方法（入手経路）を記載
	追跡期間	日数	起算日から生存最終確認日または死亡日までの日数

本書における生存率集計に関して

◆生存率について

施設別の生存率は、各施設より提供の院内がん登録データ（予後情報付き）により算出している。また、掲載している生存率の値はすべて実測生存率としている。

「実測生存率」は、死因に関係なく全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する所定年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。＜国立がん研究センター生存率集計報告書より＞

本書においても、Kaplan-Meier 法を用いて計算している。なお、施設別の集計においては、施設別かつ部位別以上に集計区分が細分化されるため、**特に対象者数の少ない区分において、算出値の信頼性が十分でないため、生存率の解釈には注意を要する。**

各施設において、部位ごとの集計ページでは「2011-2015 年症例」の間の 5 年予後付き情報を用いて算出した実測生存率を掲載しており、それに加えて、「2008-2010 年症例」の間の 5 年予後付き情報が提供可能であった施設においては、末尾にその 2 期間の 5 年実測生存率の推移情報を掲載している。

◆集計値の掲載について

5 年生存率の算出において、集計対象症例の 5 年後の生存状況を把握していることは必須である。しかし、生存確認調査の実施には複数の制約があり、施設によっては生存状況把握割合（対象者のうち予後が追跡できた者の割合）が低い集計値が散見された。また、対象とする母数が少ない場合には算出された生存率の信頼性が十分でない。これらの点も考慮した上で、生存率の値は以下の公表基準での掲載としている。

- ・生存状況把握割合が 90%未満の場合は、生存率と標準誤差を非掲載とし、かつ朱色で網掛けとした。
（愛知県集計においては非掲載とせず該当箇所には朱色で網掛けのみ）
- ・対象者数が 30 件未満の場合は、生存率と標準誤差は掲載し、朱色で網掛けとした。
- ・対象者数が 0 件の区分では、生存率と標準誤差および生存状況把握割合を、値なしで表記。

また、院内がん登録データを用いた集計であることから、集計件数に関しては以下のとおりの掲載としている。

- ・件数 10 件未満のデータは件数を秘匿化している（「1～3」などでまとめ表記）。
- ・件数 10 件未満のデータは件数割合を非掲載。

◆集計条件について

集計条件は国立がん研究センター 2014-2015 年 5 年生存率集計報告書（下記 URL）に準じている。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_2014-2015.pdf

集計対象と集計項目については以下の通り。本書では愛知県集計においては上記報告書と同等の部位別の掲載とし、施設別集計においては対象母数の少なさを考慮し主要 8 部位および血液腫瘍に絞った掲載としている。以降の表 1、表 2 に集計対象部位、組織形態コードを掲載している。

【集計の対象】

生存率集計における集計対象は、対象症例年期間内に診断された例で次の i から iii を満たすものとした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物＜腫瘍＞（一部良性の脳腫瘍）

本集計では、原則として新生物＜腫瘍＞の性状コード 3 の「悪性、原発部位(悪性新生物＜腫瘍＞)」の例を集計対象とした。

iii. 年齢

診断時の年齢が 0 から 99 歳までの例を集計対象とした。算出は以下の通り。

診断年月の月 $\geq$ 生年月日の月 $\Rightarrow$ (診断年月の年) - (生年)

診断年月の月 < 生年月日の月 $\Rightarrow$ (診断年月の年) - (生年+1)

【集計項目の定義】

[部位区分]

部位分類コード対応に基づく（以降、表 1）。

[ステージ区分]：UICC T N M分類総合ステージ

本書では国立がん研究センターの集計に習い、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC T N M分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている T N M 情報からみてステージが UICC T N M 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、部位・組織形態コード対応に基づく（以降、表 2）。

◆全国値、愛知県値について

本書で掲載した全国、愛知県の集計値は以下の通りとなっている。

全国値：前述の国立がん研究センター作成の 2014-2015 年 5 年生存率集計報告書の掲載値であり、2014-2015 年症例データによる集計。

愛知県値：今回の生存率集計対象となった 16 施設(※)の合計により求めており、各施設値と同じく 2011-2015 年症例データによる集計。

(※愛知県拠点病院のうち、2011-2015 年症例を通じた院内がん登録データについて 5 年あるいは 10 年予後付き情報の提供が可能であった施設)

表 1 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-02.9、C03.0-C05.0、C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972、974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998、999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※施設別掲載ページではこのうち色付きの部分を対象としている。

※悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病を血液腫瘍として 1 区分にまとめている。

表2 ステージ区分の部位・組織形態コード対応

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157(但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157(但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157(但し、8041-8045、8013 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌(女)	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157(但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣癌(女)	C56	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

※施設別掲載ページではこのうち色付きの部分を対象としている。